

長嶺地域コミュニティ協議会だより

発行日 平成26年2月17日 新春のつどい 特集号 平成26年2月1日開催
発行 長嶺地域コミュニティ協議会広報部 発行責任者 水本直弥 編集・発行 広報部 斎藤真弓
この広報誌は新潟市地域活動の補助金を受けて発行しました。 ホームページ www11.ocn.ne.jp/~minekomi

平成26年度 「新春のつどい」 長嶺コミ協 男女共同参画事業 (新潟市地域活動補助事業) 「笑いにみる夫婦の絆」 演者: 水都家 艶笑 師匠



水本会長の挨拶



松原副会長の挨拶

男女共同参画の啓発事業としてはじまった「新春のつどい」も今年で6年目になりました。高齢化が著しい私達の街の関心事をテーマに学習会、講演会を開催し、高齢化社会への取り組みを男女共同参画の視点で考えられるように毎年実施してきました。今年も趣向を変えて、落語で男女共同参画を語っていただきました。落語に描かれる様々な夫婦たち、心温まるお話を聞かせていただきました。笑って楽しみながら、夫婦のあり方、男女のかかわりなどを改めて考えるよい機会になりました。毎日の介護、認知症など高齢者にとって切実な問題があります。父親、母親、夫が妻がという時こそ、男女共同参画の視点が重要なことになるのではと思います。

長嶺コミ協 副会長 松原 明子

プロの落語を生で聞かれるとワクワクして出かける。「見たことあるしよらわ」とささやく声で福々しい顔の師匠が登場、新潟訛りの語り口に親しみを感じ「ハッハッハ」と笑い方の練習にリラックスし、すっかり艶笑ワールドに引き込まれる。

師匠のご両親の事、ご夫婦の事ご近所との事、様々の関わりに気配りのある言葉を、タイミングを考え発する事、とても勉強になりました。

時には言葉にトゲまでのせて発していた自分に反省。これからは気配りと思いやりを載せた言葉で話そう。

新春のつどいにピッタリのお話を聞かせて下さった師匠に感謝、企画して下さいました皆様へ感謝いたします。

健康福祉部 副部長 飯塚 和子

笑い運動で元気いっぱい



感謝の言葉を忘れず、お互いにちょっとした気配りを



水都家 艶笑 師匠の新潟弁たつぷりの口演と南京玉すだれ



師匠の創作落語『ザ・町内会』や小噺『老婆の休日』など、家族やご近所にまつわる楽しいお噺に、会場は終始、大爆笑でした。また、師匠の特技「南京玉すだれ」でも盛り上がり、あっという間の1時間半でした。

これからの長嶺コミ協の行事予定

2/23 「新春地域サミット」

3月「卒業と入学を祝う会」「健康講座」

などを予定しています。